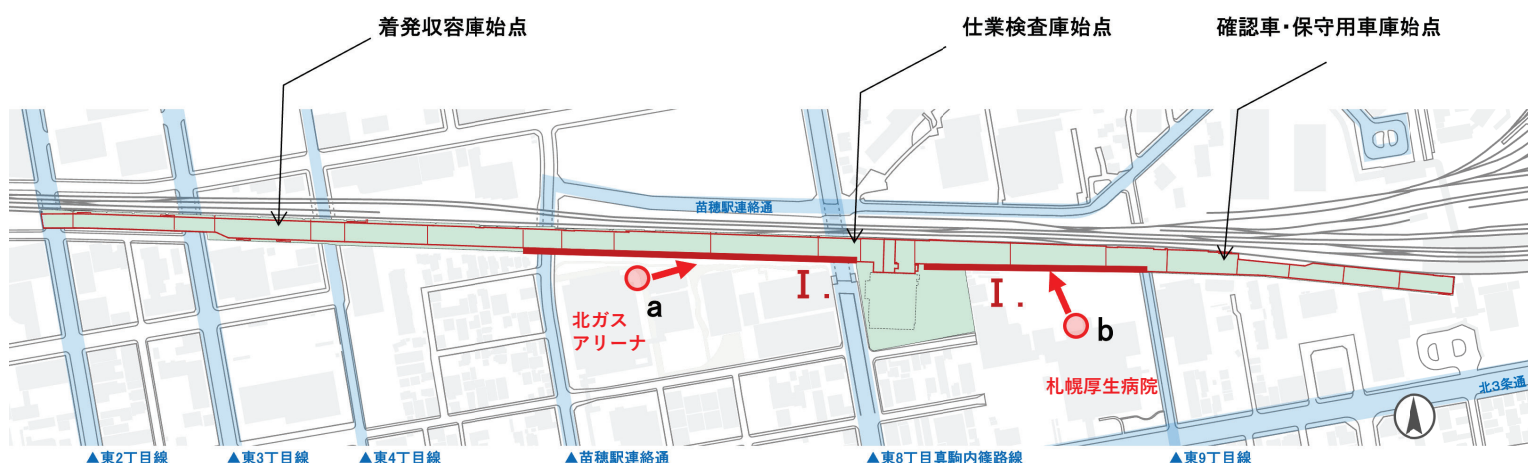


I. 北ガスアリーナ、札幌厚生病院付近 南側外壁



◆課題について

- ・北ガスアリーナ付近には、車両基地敷地の境界の脇に遊歩道が整備されており、体育館等の利用者の他、一般の歩行者からも目に触れる場所となっています。
- ・札幌厚生病院には、車両基地と隣接する箇所に病院利用者のための駐車場があり、病院や東9丁目線からよく見える場所となっています。

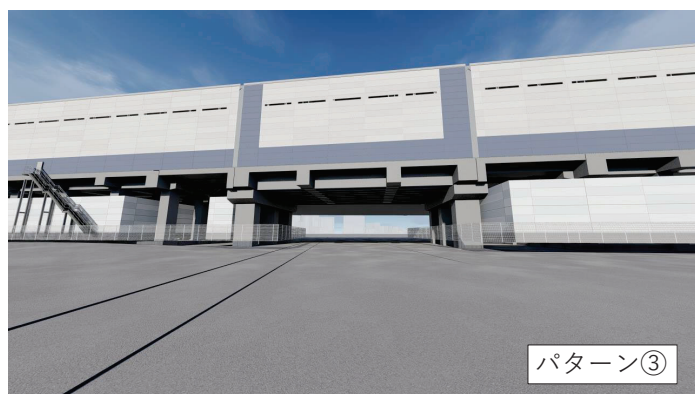
車両基地が広く見える視点場であることから、圧迫感を低減させる工夫が必要



デザインを考えるときは、
・色 ・模様 ・独自性 ・周辺地域の環境 ・都市計画
など様々な要素を**総合的に**勘案する必要があります。

色が入ったラインを追加、ランダムにパネルの色を変えるだけでも印象は大きく変わります。

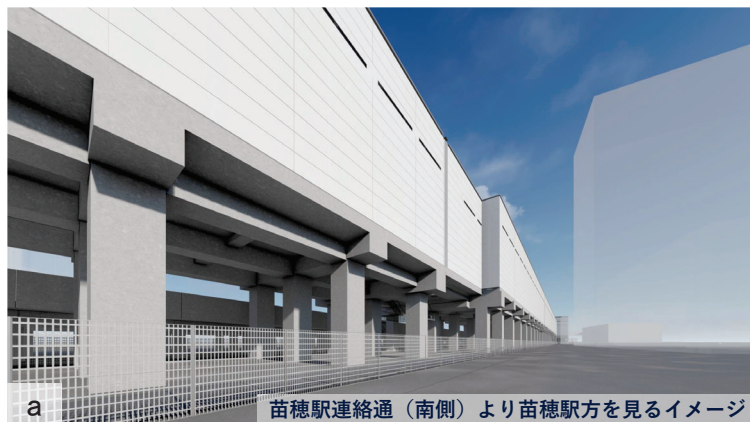
※下記パースは東4丁目線 南側の例



◆デザイン経緯

デザインなし案

デザインを施さない場合、視点場からの見え方は下図のとおりになります。

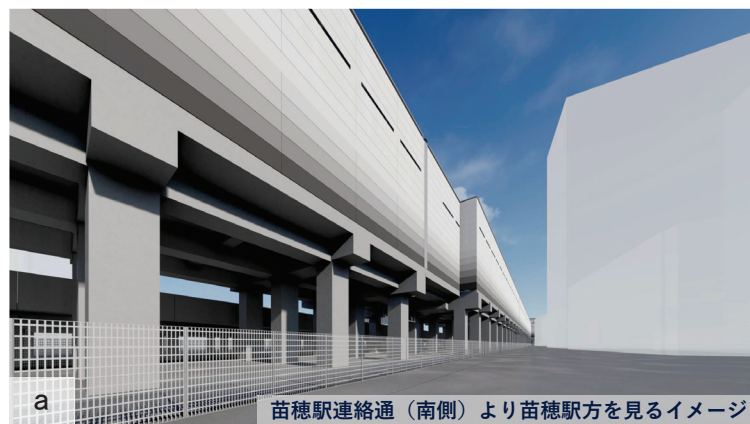


a 苗穂駅連絡通（南側）より苗穂駅方を見るイメージ

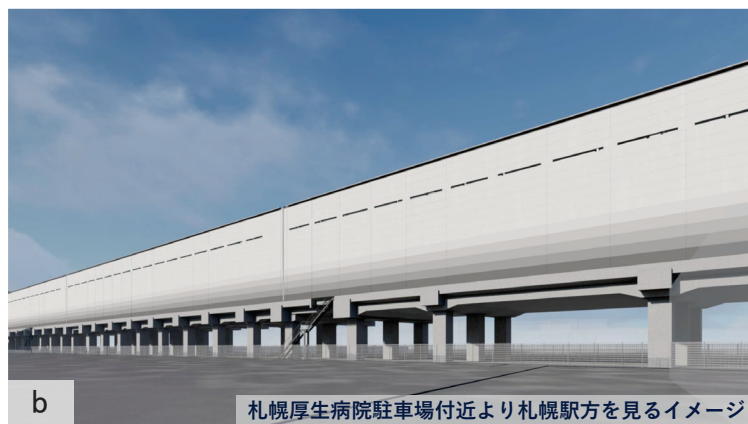


b 札幌厚生病院駐車場付近より札幌駅方を見るイメージ

- ・単調な壁面が連続しないように、縦方向に変化するグラデーションを検討しました。
- ・縦方向に変化するグラデーションを採用することで、丸みを帯びたような印象となり、圧迫感が低減されたように感じます。
- ・グラデーション色は札幌の景観色70色から選定し、落ち着いたモノトーン調を採用しました。



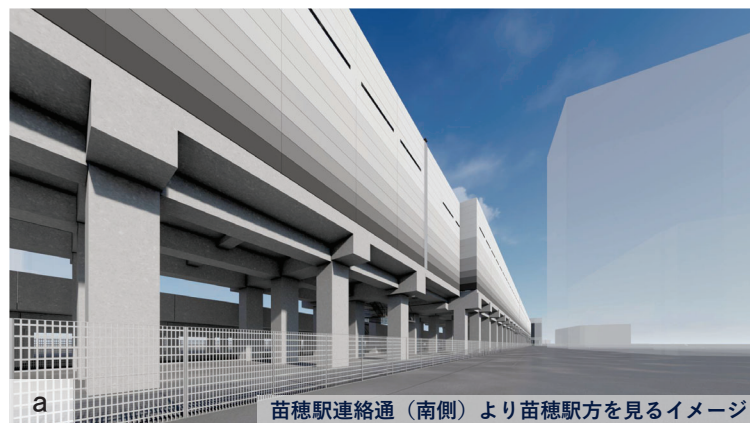
a 苗穂駅連絡通（南側）より苗穂駅方を見るイメージ



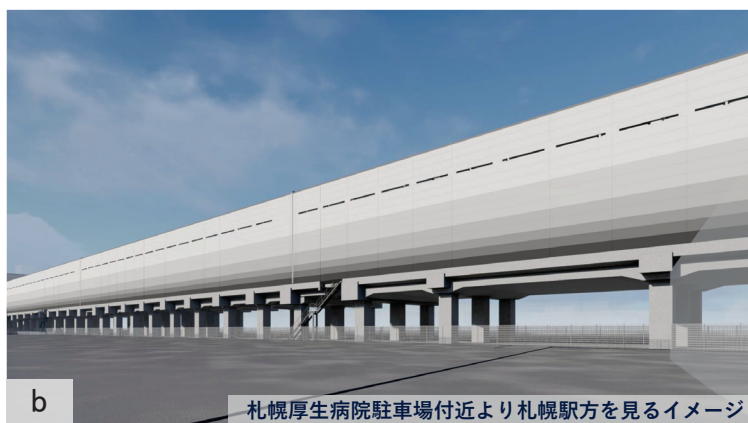
b 札幌厚生病院駐車場付近より札幌駅方を見るイメージ

デザイン案

- ・グラデーションの色及び幅（高さ）の見直しを行いました。
- ・上に行くにつれて徐々に幅（高さ）を大きくし、グラデーションをより強調しました。

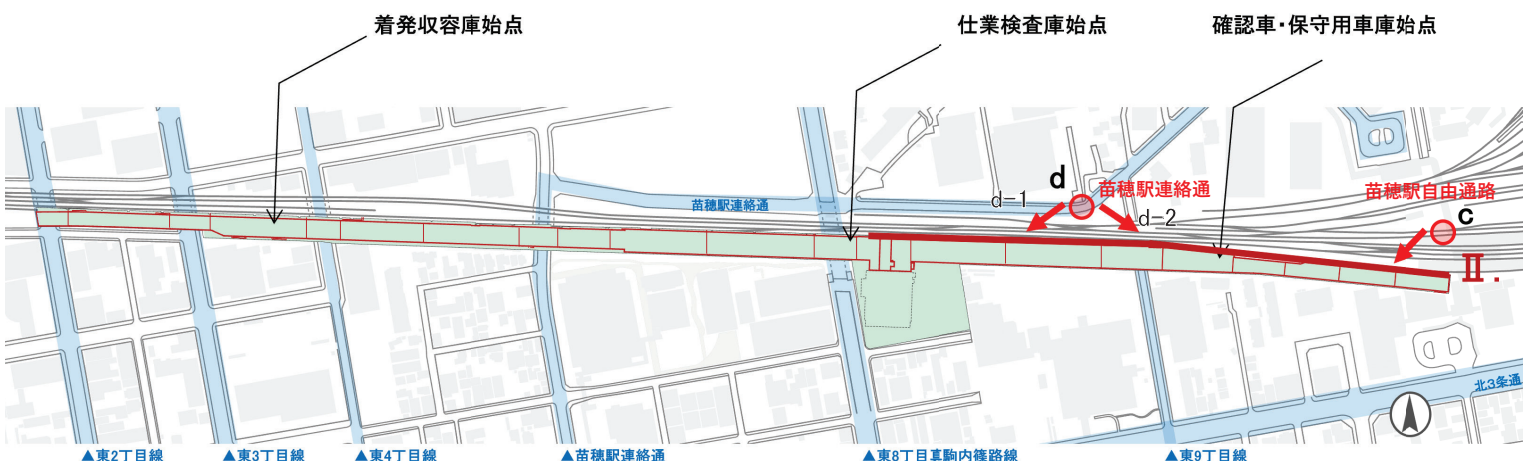


a 苗穂駅連絡通（南側）より苗穂駅方を見るイメージ



b 札幌厚生病院駐車場付近より札幌駅方を見るイメージ

Ⅱ. 苗穂駅付近 北側壁面(排煙窓)



◆課題について

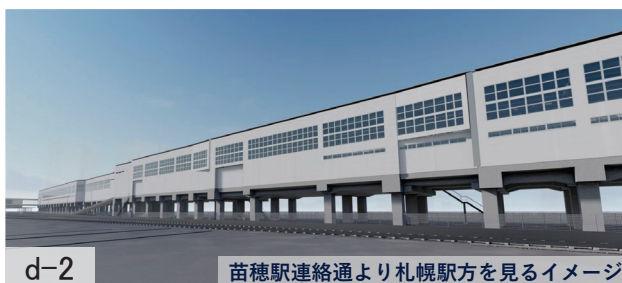
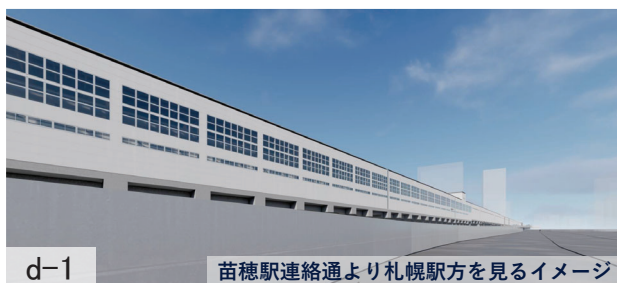
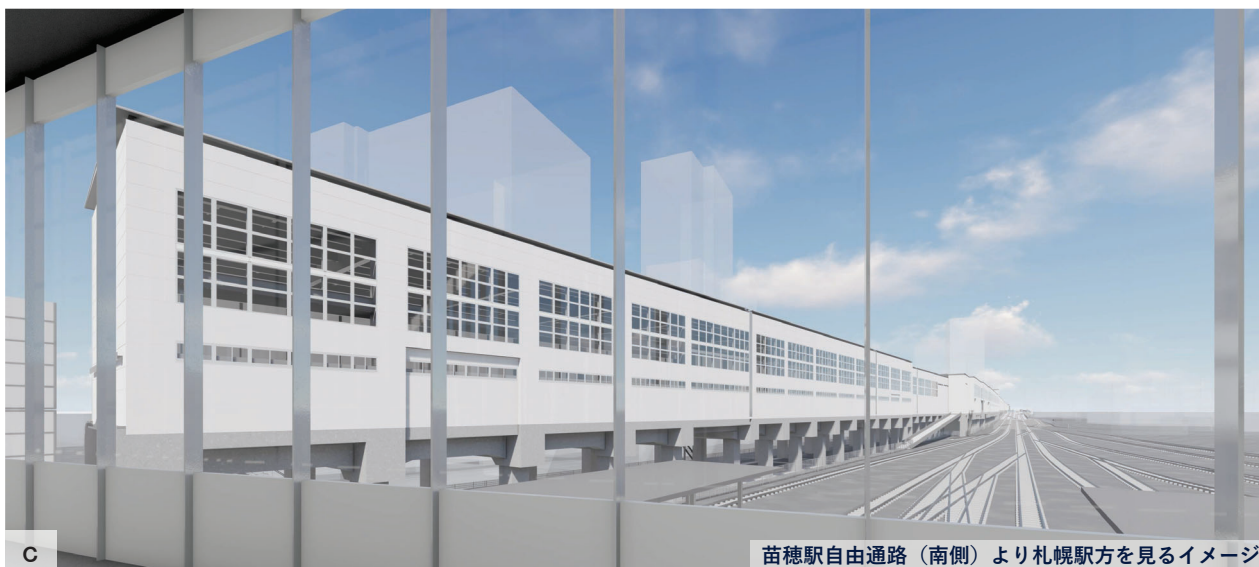
- ・北側の壁面には格子状の窓(排煙窓)が単調に並んでおり、工場のような外観を連想させます。
- ・消防法上、排煙窓が必要であり、多くの開口部が必要となります。

苗穂駅利用客や周辺施設利用者から見えやすい位置となるため、
工場のような外観イメージを払拭する

◆デザイン経緯

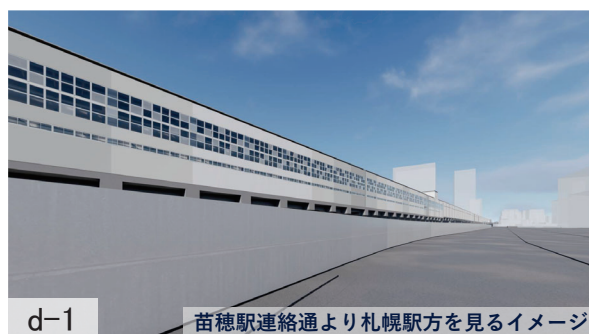
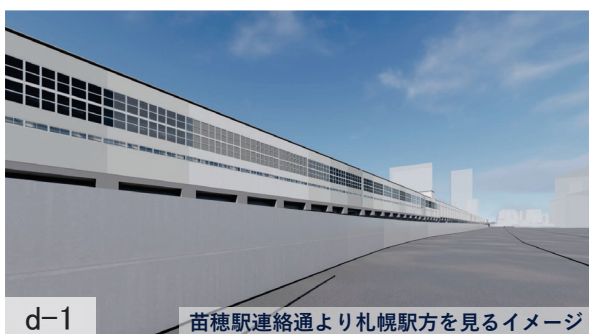
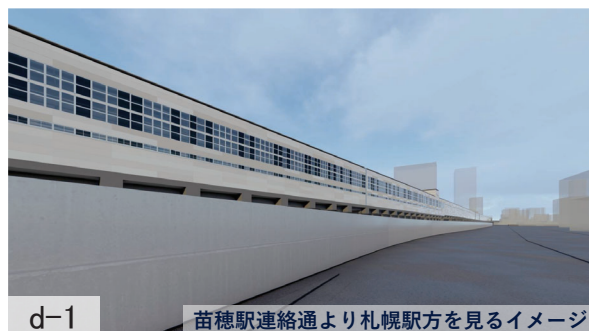
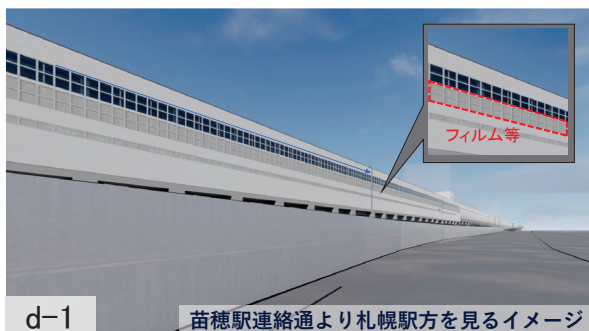
デザインなし案

デザインを施さない場合、視点場からの見え方は下図のとおりになります。



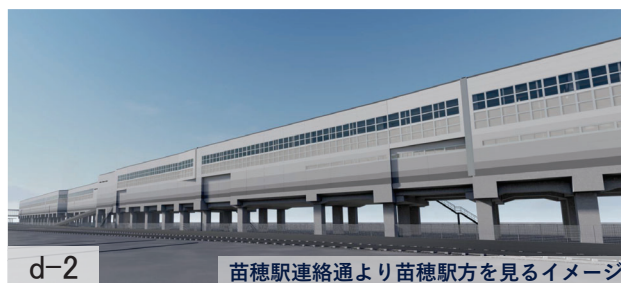
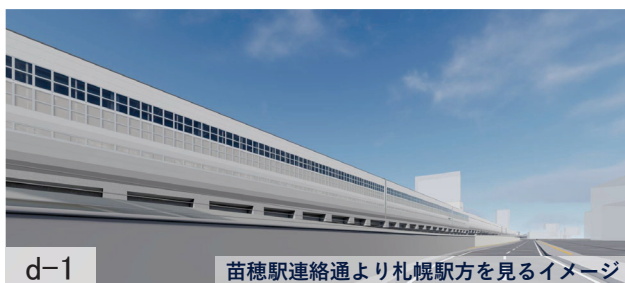
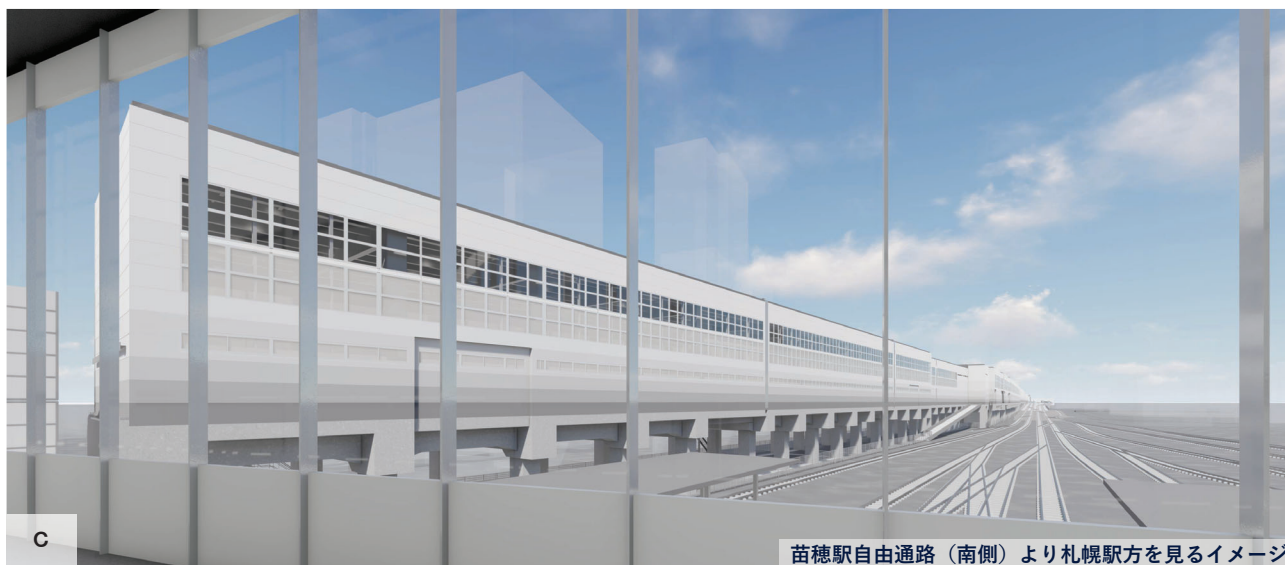
壁面デザイン検討経緯(4)

- ・窓は水平方向に連続して設置することにより、札幌駅方向へ長く続くライン(線)を強調します。
- ・壁面色や窓にフィルム等を貼ることで壁面全体に変化をつけ、様々なデザインパターンを検討しました。

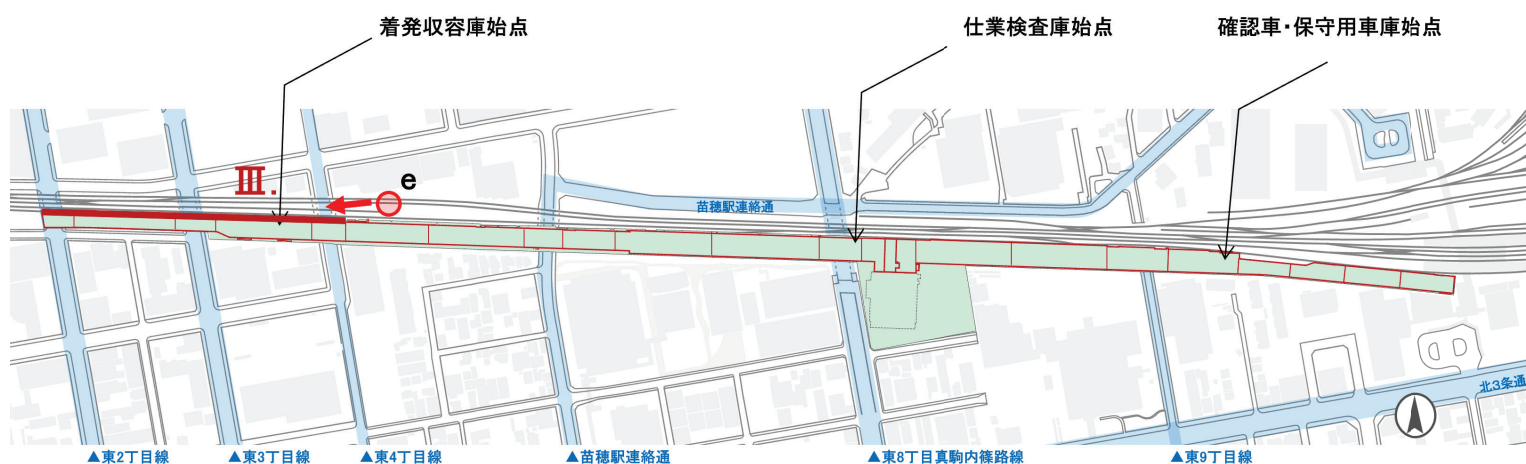


デザイン案

- ・北ガスアリーナ、札幌厚生病院付近と同様に縦方向に変化するグラデーションとしました。
- ・フィルム等は窓の下2段に貼り付けることで、札幌駅へ延びるライン(線)を強調しました。



Ⅲ. 東2～4丁目線付近 北側外壁



◆課題について

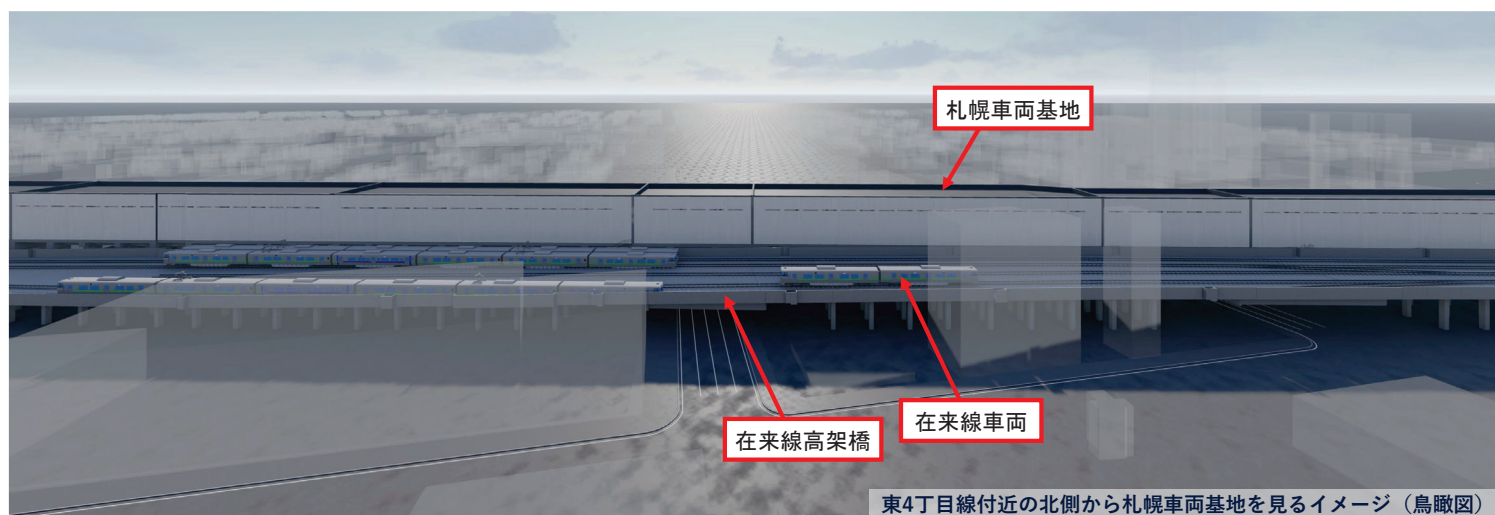
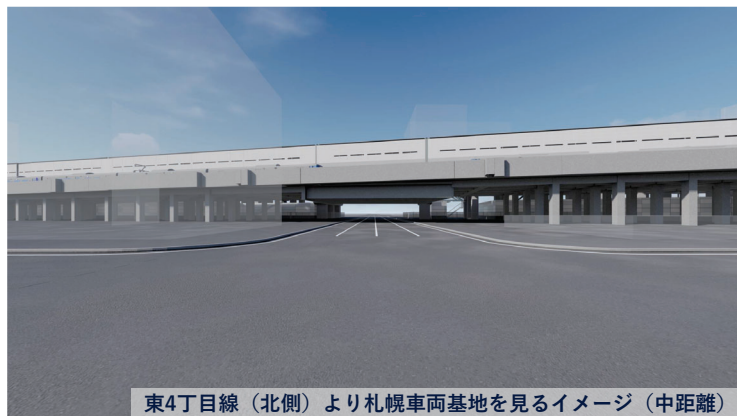
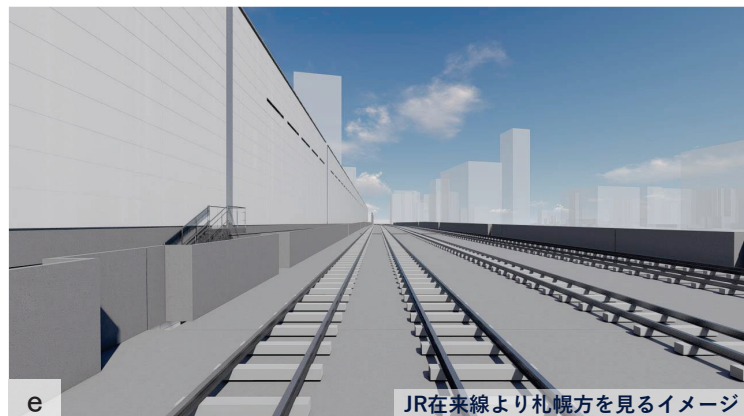
- ・東2～4丁目線付近の北側は、在来線高架橋が新幹線高架橋とほぼ同じ高さまで上がっています。
- ・在来線の乗客からは今まで見えていた札幌市街地の景観が見えなくなり、一連の壁が連続して見えます。

在来線の乗客に車両基地外壁の圧迫感を感じさせず、
遊び心を感じさせる工夫が必要

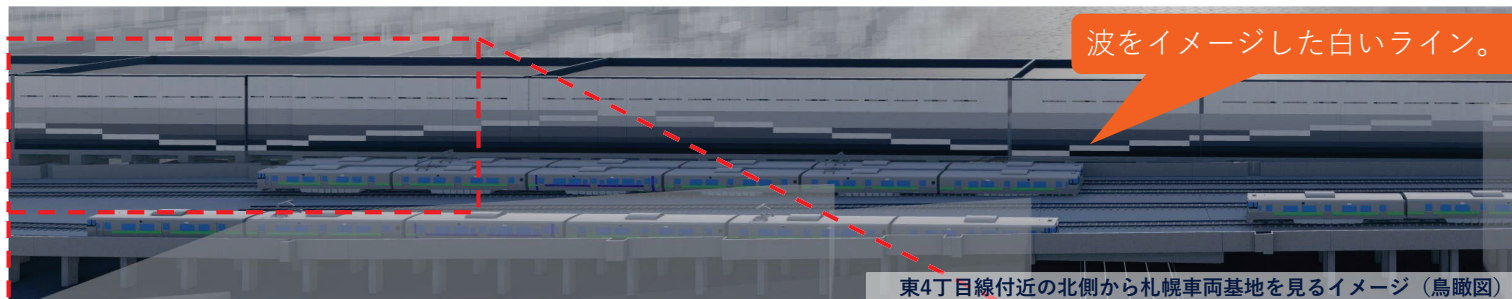
◆デザイン経緯

デザインなし案

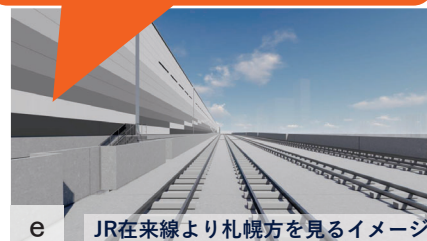
デザインを施さない場合、視点場からの見え方は下図のとおりになります。



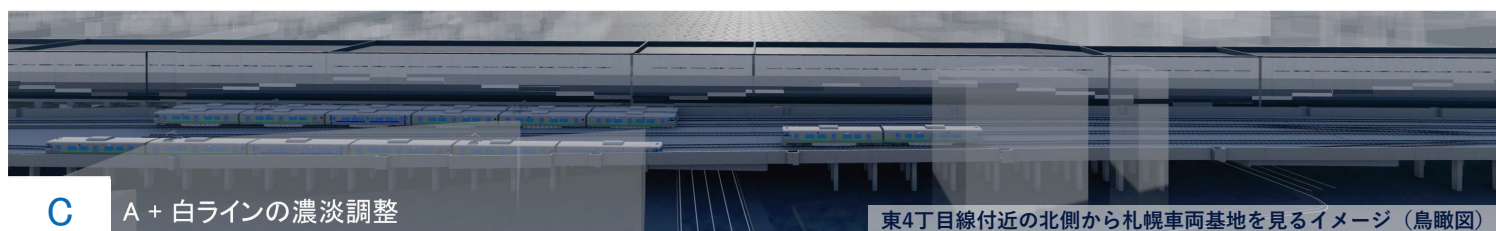
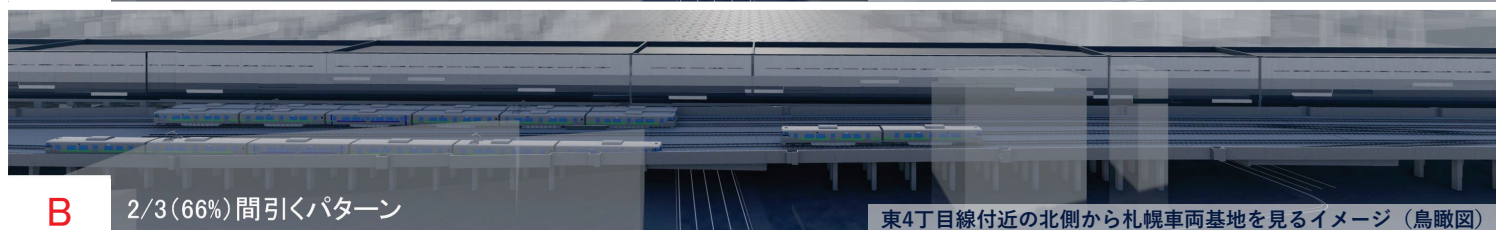
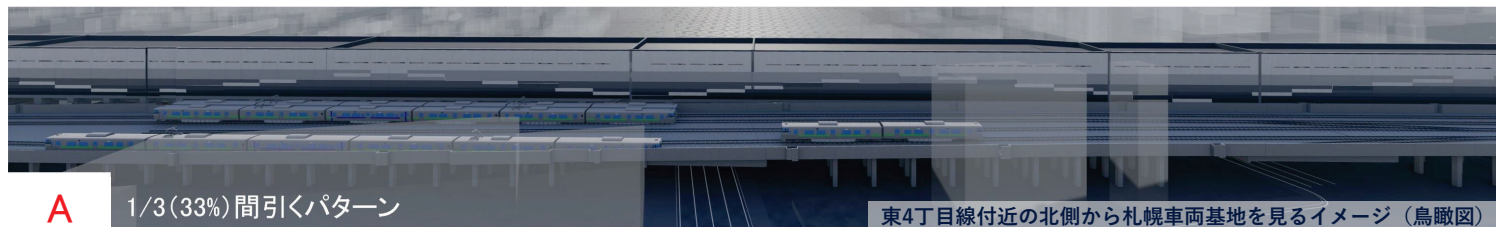
- ・他の視点場と同様に縦方向のグラデーションでデザインしています。
- ・また、波をイメージしたラインを追加しました。在来線の車窓から波をイメージした白いラインが見え、乗客からは波が動いているように見えます。



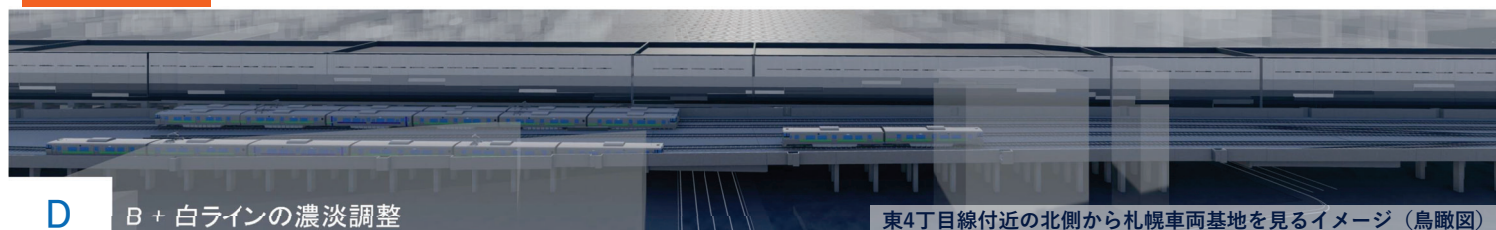
東2丁目から4丁目線を通る在来線の車窓からは、波が動いているように見えます。



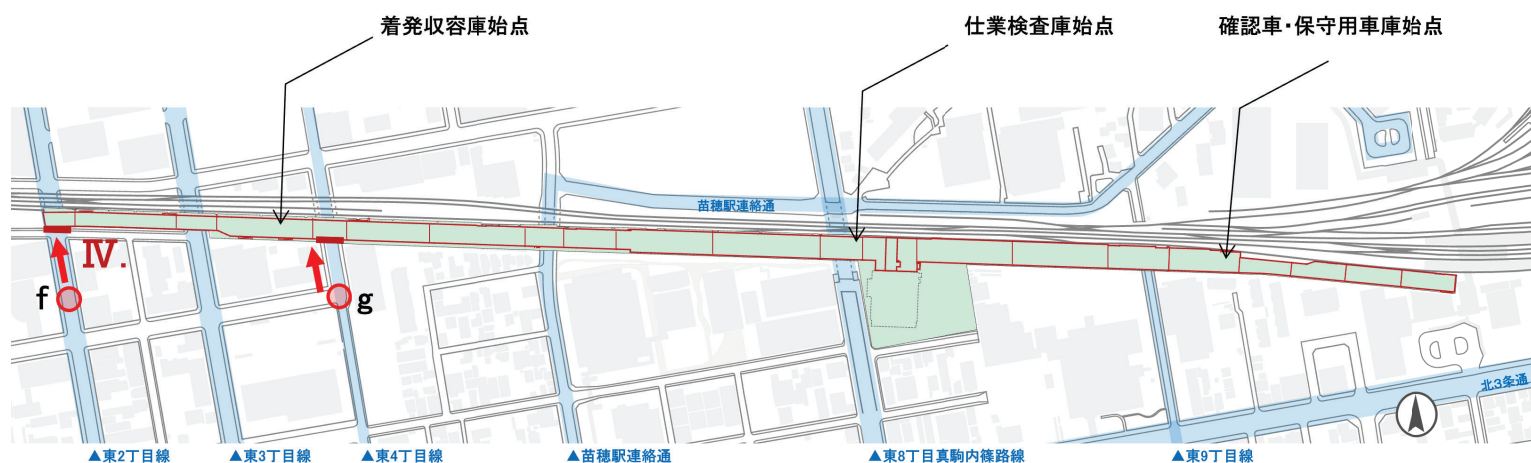
- ・検討会において、波の白線の印象が強すぎることから、周辺の高層マンションからの景観が懸念されました。
- ・そのため、**白線を間引く案(A、B)**と**間引きに加えて濃淡の調整をする案(C、D)**を4種類作成し、柔らかみのある**D案**で検討を進めることにしました。



デザイン案



IV. 東2丁目線・東4丁目線 南側道路交差部



◆課題について

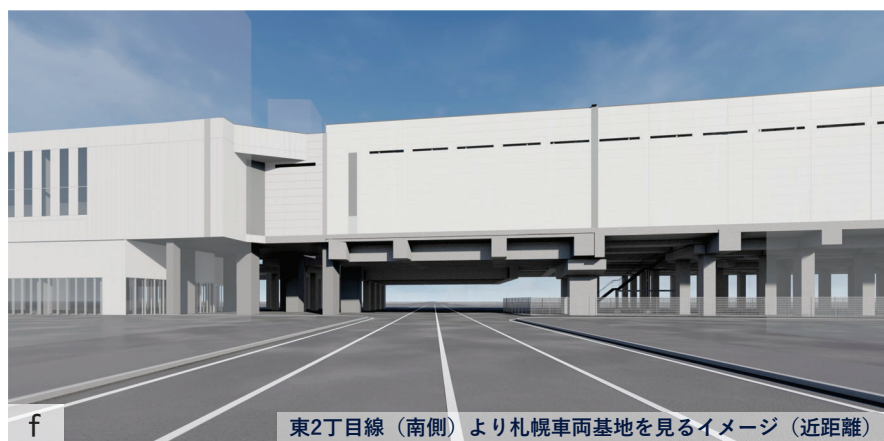
- ・東2丁目線は、周辺の建物に視線を遮られています、道路上の構造物はよく見えます。
 - ・新設される新幹線札幌駅との連続性への配慮が必要となります。
- ※詳細はパネル 9 参照

新幹線札幌駅との連続性を配慮し、札幌駅のデザインとの調和が必要

◆デザイン経緯

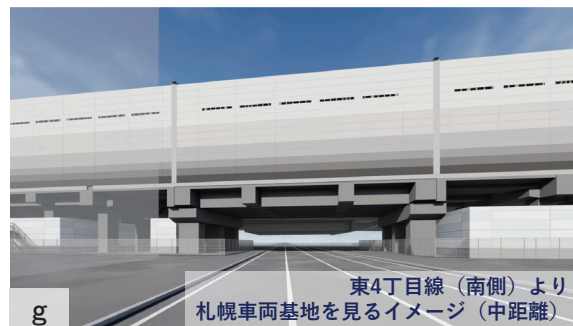
デザインなし案

デザインを施さない場合、視点場からの見え方は下図のとおりになります。



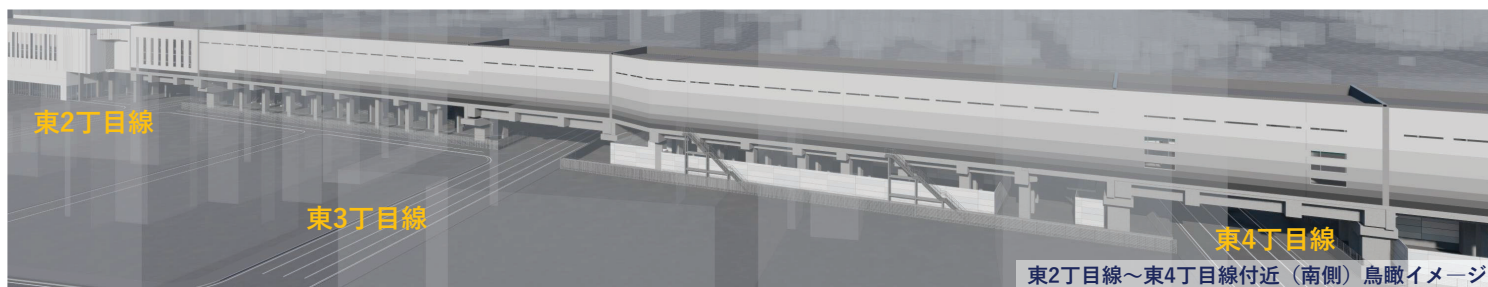
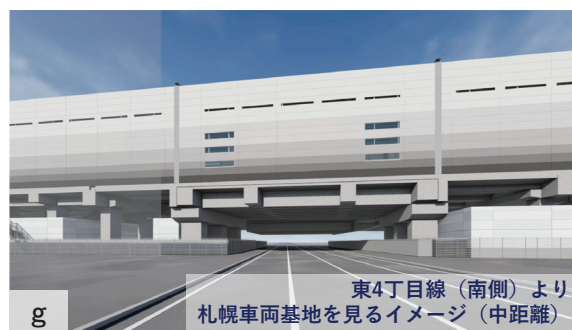
東4丁目線は別名、「いとなみの軸」と呼ばれ、創成東地区の機能の複合化と南北の回遊性向上を支える基軸となっています。そのため、東4丁目線からの見え方にも留意する必要があります。

- ・東2丁目線については、隣接する新幹線札幌駅と同様に縦型の窓を設置し、デザインと調和を図るため窓のサイズを揃えました。
- ・窓を設置することにより、車両基地内部の新幹線車両の動きが外部からも分かるようにしました。
- ・東2丁目線交差部以外は、他の箇所と同様に縦方向に変化するグラデーションのデザインを採用しました。



デザイン案

- ・東2丁目線交差部東側からグラデーションが唐突に始まるため、傾斜をつけて徐々にグラデーションが始まるようにしました。
- ・東4丁目線上空の壁面の一部に窓を設けて中の様子（動き）が分かるようにしました。

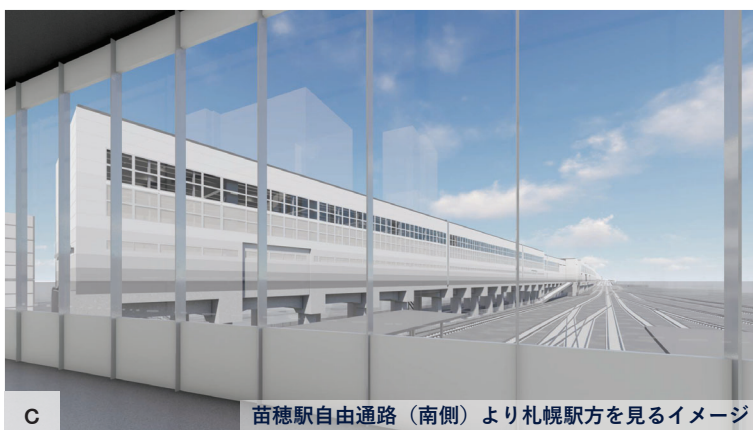
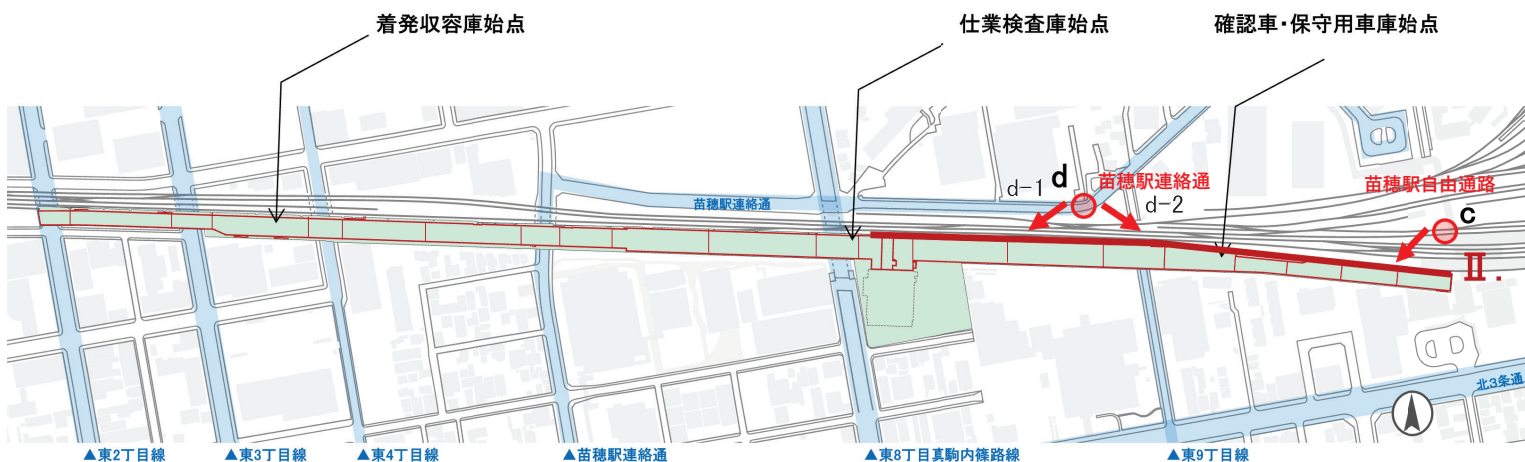


色のコントラスト（対比）が強すぎることから、グラデーションが明るい色から徐々に始まる案も検討しています。

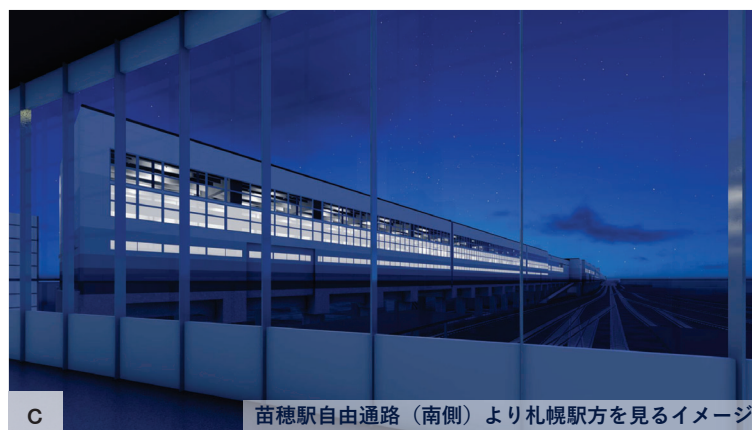
札幌車両基地の夜景

◆夜景について

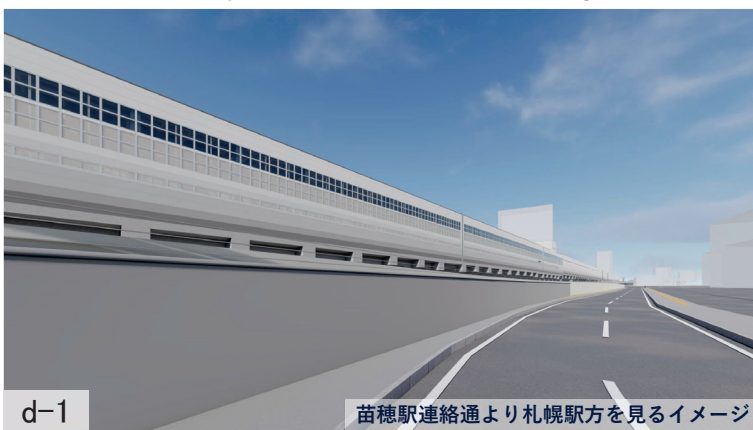
- ・北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)開業後、札幌車両基地は24時間365日休むことなく運用されます。
- ・その札幌車両基地の夜景はどのように見えるのか、苗穂駅付近のパスを例にお示します。



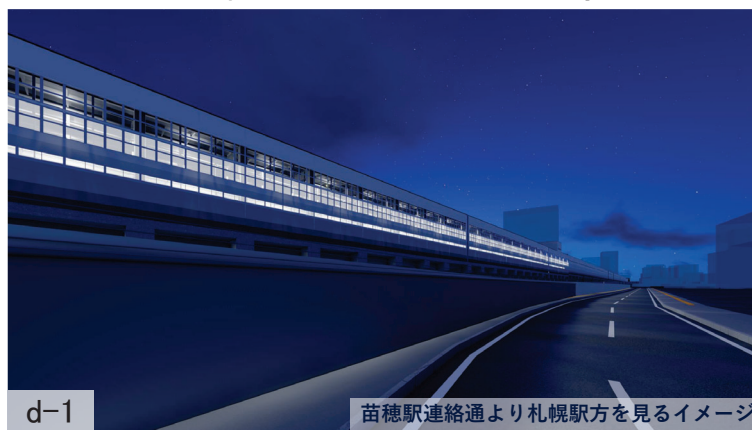
c. 苗穂駅自由通路(南側) 昼景



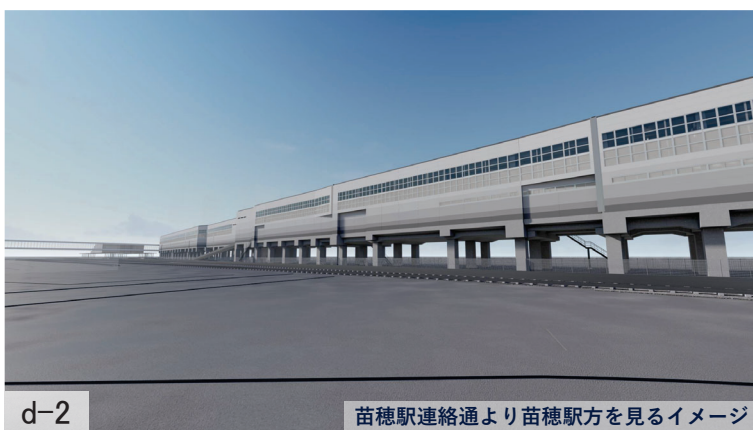
c. 苗穂駅自由通路(南側) 夜景



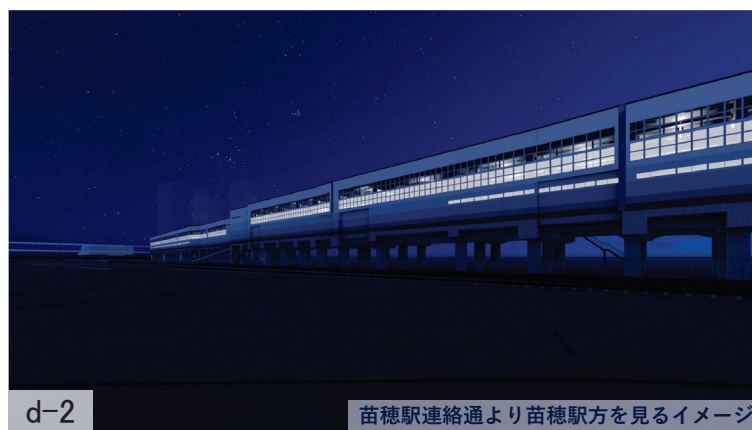
d-1. 苗穂駅連絡通(札幌駅方) 昼景



d-1. 苗穂駅連絡通(札幌駅方) 夜景



d-2. 苗穂駅連絡通(苗穂駅方) 昼景



d-2. 苗穂駅連絡通(苗穂駅方) 夜景

◆まとめ

ここまで、札幌車両基地の概要やデザイン検討経緯についてご説明してまいりました。鉄道・運輸機構はこれまでに2回デザイン検討会を実施し、長大な車両基地の圧迫感が低減されるよう、議論を重ねてまいりました。札幌周辺の市街地環境と調和し、地域から愛される車両基地となるよう、引き続き検討を進めて参ります。

◆デザインコンセプト説明

まちとともに築く

整備新幹線で初めて、都市(まち)のなかに建設される車両基地。

“札幌の景観色”を基に、空に向かって明るくなるグラデーションは、札幌(まち)の「未来」、そしてこの札幌車両基地で日々行う検査・整備で積み重ねていく「安心・安全」を表現しています。

外観は都市と調和し、札幌や人々にいつも寄り添い、ともに過ごしながら、

札幌の未来、そして新幹線運行における安心・安全を築いていくことを目指します。

KEY WORD

まち : 札幌/市街地/都市

ともに : 調和

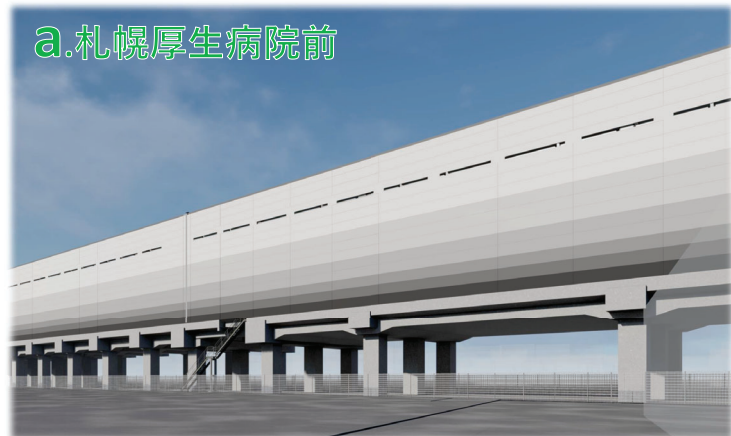
→ 圧迫感を低減し、見え方や連続性を意識した市街地環境と調和したデザイン

築く : 未来と安心を築く

→ 新幹線の安全運行を通して人々の安心・安全な暮らしに寄与し、札幌のまちと人々の未来を築く

◆主な視点場からのイメージ

a. 札幌厚生病院前



新雪 (しんせつ)

霧氷 (むひょう)

銀鱗 (ぎんりん)

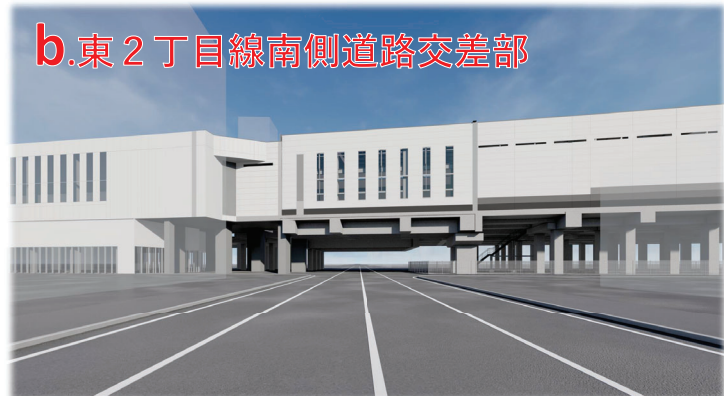
吹雪 (ふりぎりす)

蝦夷臈 (えぞあぶり)

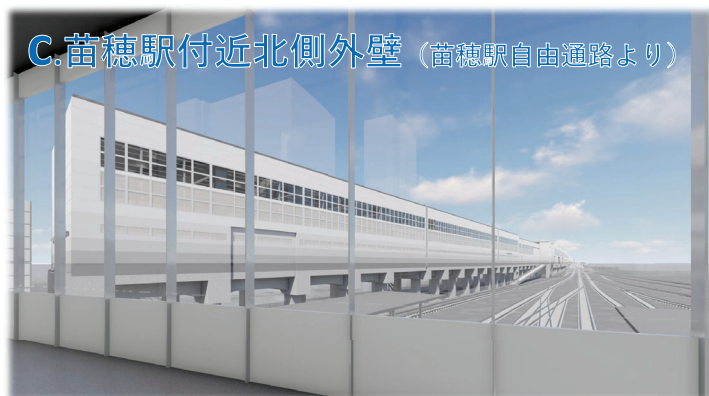
開拓使 (かいたくし)

グラデーション使用色

b. 東2丁目線南側道路交差部



c. 苗穂駅付近北側外壁 (苗穂駅自由通路より)



ここまでご覧いただきありがとうございました！
アンケート回答にご協力をお願いいたします。



札幌車両基地 壁面デザイン比較図

デザインコンセプト

まちとともに築く

まち：札幌/市街地/都市

ともに：調和

→圧迫感を低減し、見え方や連続性を意識した市街地環境と調和したデザイン

築く：未来と安心を築く

→新幹線の安全運行を通して人々の安心・安全な暮らしに寄与し、札幌のまちと人々の未来を築く

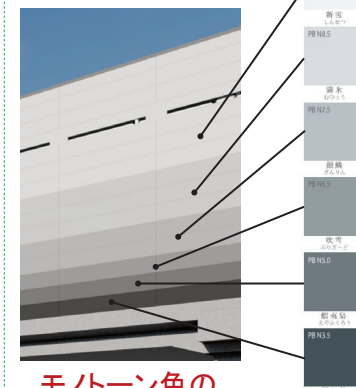
a. 札幌厚生病院前

色調を札幌の景観色70色から採用したグラデーションとすることで「圧迫感の低減」と「市街地環境との調和」を図りました。

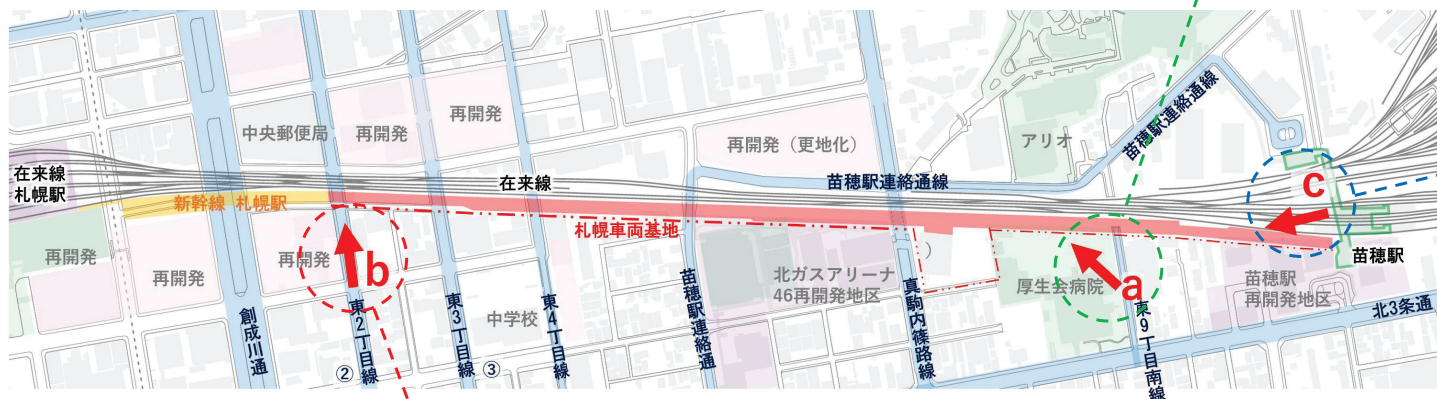
壁面デザインしない場合



壁面デザインした場合



モトーン色のグラデーション



b. 東2丁目線南側道路交差部

接続している新幹線札幌駅の壁面と同様に縦長の窓を設置することで、札幌駅との連続性へ配慮したデザインとしました。

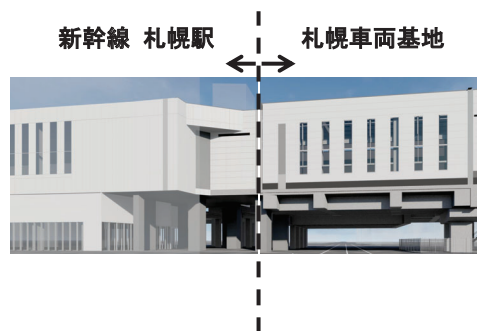
壁面デザインしない場合



壁面デザインした場合



札幌駅との連続性



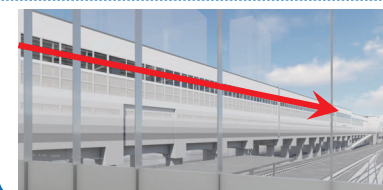
c. 苗穂駅付近北側外壁(苗穂駅自由通路より)

壁面デザインしない場合



北面の窓を水平に連続させることにより、札幌駅まで伸びる直線的なデザインとしました。

壁面デザインした場合



札幌駅への直線的なデザイン